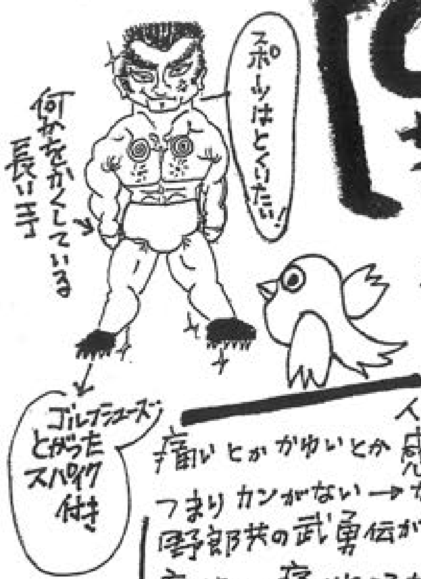

主人公かんくろう
スポーツはとくいたい!
何かをかくしている長い手
ゴルフシューズとがったスパイク付き

九州じゃんがら春秋 ザ・かんなし Part2

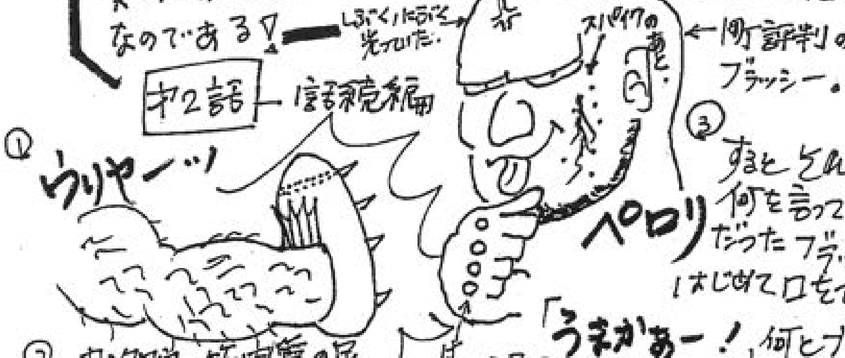
ホームページ
www.kyusyujangara.co.jp
九州じゃんがら
ひと味ちがうラーメン屋さんの素顔

九州地方武勇伝Part2

＊かんなしとは.

人間はだれもが感というものをもっている。感覚である。痛いとかかゆいとか感じる力である。かんなしとはその感覚がない。つまりカンがない→かんなしなのである。九州地方にはそのかんなし野郎共の武勇伝が山ほどあるのである。かんがないゆえになぐられても痛くない。痛いどころか笑ってみせるのである。かんなしは戦いがなにより好きだ。その瞬間をむかえるのを実にワクワクしながら楽しみに待つのである。そんなかんなし野郎共の戦いの記録がここによみがえる。ザ・かんなし!とは.九州じゃんがららあめんのスタッフ達が実体験したかんなし野郎共の壮絶な戦いの想い出記なのである!

第2話 ー 完結編


しぶくにぶく光っていた.
スパイクのあと
←噂の評判のかんなし男ブラッシー。
①
うりゃーッ
ペロリ

② カンクロウの筋肉質の足しかもゴルフシューズとがったスパイクつきがみごとにブラッシーの顔面に決まった!! ザクリッー.

③ するとそれまで何を言っても無言だったブラッシーがはじめて口をひらいた。

「うまかあー!」何とブラッシーは顔面から出る自分の血をペロリとなめて.「うまい」といったのである。さすがのかんくろうもこの時ばかりは.「やりがいがある…」とわくわくしたそうなのである。

以上の会話.心理はまぎれもなく2人が かんなし であることを証明している。

さて,いよいよ戦いはクライマックスに入っていく。

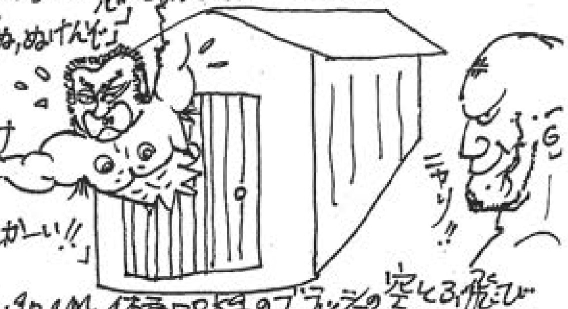
かんくろう「なに? うまか? おまえそぎゃん好かなら牛乳ビンにつめてゴクゴクのませてやろうかね。」

ブラッシー「……。」

ブラッシーは口べたであった。かんくろうはさらに助走をつけ.ガチャガチャとゴルフシューズ音を高らかに響かせ特別ハイキックをかませたのであった。(特別ハイキックというのはよくきいてみても.何度きいてみても.ふつうのキックであり.本人がとても自信をもっている技であるという意味で何か飾りつけをした言い方をしたかったとのことであった)

「ウリャーッ!!」「スカッ!!」「ザクリ!!」「ウギャーッ!?!?」……。

何と.最初見事に決まったかんくろう得意の特別ハイキック。助走までつけ.これで決めるぞという思いも強く相当のジャンプであったのだが空振りしてしまったのである。しかも,かんくろうの着地地点が.お寺の倉庫の戸をやぶりきれーいに戸にはさまり状態になってしまったのである。



か「まっ,まっまずかねー!!」「ぬ,ぬけんと」

ブ「今がチャンスたい!!」

ブラッシーはここぞとばかりさっきの仕返しだと助走をつけさけびながらかんくろうに猛突進をするのであった。

「オル（おれ）のズつき（頭突き）ばうけてみんかーい!!」

ガキーン!! 助走つきの身長190cm.体重120kgのブラッシーの空とぶ飛び頭突き。これが何をかくそうブラッシーの得意技だったのである。決まった!! 誰もがそう思った。ところがである! のたうちまわって苦しんでいるのは何と ブラッシー。そしてかんくろうは.実にさわやかに,そして少々照れながら「ブッブッブッ! よかなー!!」とこちらに何かをみせるのである。「ピカッ!!」え? ひょっとして.ナイフかなんかもっているのか? いやそんなはずはない。かんくろうはピストル.ナイフ類を使わず体力のみのバトルで相手をたおすのが自慢だったのだから。よーくみてみる。何か手にもってるな。ピカリッ! え? 何とそれは.どこにでもあるセンヌキだった。

「ごぎゃんこつもあるかと思ってね。やっぱ役にたったばい。ほんなこつ かんなし と戦うはお.苦労するバイ。ウアッハッハッハッハッ!!」ウァッハッハッハー

私はその時思った。なにを言うか? 君こそ本当の**キングオブかんなし**だと。